

Ⅲ 財務の概要

1 平成26年度決算の概要

学校法人の計算書類は資金収支計算書・消費収支計算書・貸借対照表及び付属明細表からなっています。資金収支計算書は当会計年度の資金の流れと現状を表し、消費収支計算書は消費収支の均衡状態により経営状況を、貸借対照表は資産・負債・基本金及び収支差額によって財政状況を表します。

① 資金収支計算書

収入の部では、経済情勢（円安）の影響を受け、特定資産に充当していた債券の早期償還にともなう繰入収入および支出により、資金収支規模が増加し、約29億4,112万円となりました。しかし、学生・生徒・園児数の減少により、収入の根幹である学生生徒等納付金収入が約4,522万円、補助金収入が約1,551万円の減少となりました。支出の部では人件費の抑制並びに諸経費の削減に努めましたが、収入の減少をカバーするには至らず、次年度繰越支払資金は前年度より約8,049万円減少して約5億1,923万円となりました。

② 消費収支計算書

消費収支計算書には、現金を伴わない現物寄付金、退職給与引当金、減価償却費などが計上されています。帰属収入は昨年度より約3,425万円減少し、約9億5,366万円となり、基本金組入額約3,349万円を控除した消費収入は約9億2,017万円となりました。消費支出は教育研究経費・管理経費に建物等固定資産の減価償却額の約1億0,538万円が含まれており、合計約10億4,042万円となり、当年度消費収支の差額は約1億2,025万円の支出超過となっています。よって翌年度繰越消費収入超過額は約2億0,306万円に減少しました。

③ 貸借対照表

平成26年度末の資産総額は前年度より約1億3,596万円減少して約73億1,913万円になりました。主な原因は建物等固定資産の資産価値の減少及び現金預金の減少です。

負債総額も借入金の返済により減少して約4億0,280万円になりましたが、当年度末の正味財産は前年度より減少して約69億1,633万円となりました。